

耕人塾閉塾式

人間力磨いて一つ成長

中高生22人に修了証書

子どもたちが忍耐力やコミュニケーション能力といった人間力を磨く「耕人塾」(木村

民男塾長)の第10期閉塾式が18日、東松島市の矢本西市民センターであった。石巻地方などの中高生22人が活動成果を発表した後、修了証書を受け取った。

同塾は平成24年に開講し、石巻専修大学と県、石巻地方の教育委員会が後援。同大や同塾を修了した学生、小中学校の教諭など多くの人が協力し、子どもたち

ちの人間力育成に力を注いでいる。これまで同塾に参加した中高生は2800人を数える。今期はコロナ禍で活動計画も縮小。ごみ拾いなどの実践は大幅に減り、通常は5月の開塾から10回以上の活動が行われるが、今年は8回にとどまった。

修了式で木村塾長は「人生は一期一会。二度と来ないかけがえのない一瞬を大切に力強く歩んでほしい」と激励。その後、塾生たちが班ごとに分かれ、今

年の活動について話し合いをしてまとめ、成果を発表した。

年間活動について話し合いをしてまとめ、成果を発表した。

本間世理さん(石巻西高1年)は「初めて参加したが、とてもい

い経験になった」、佐藤光さん(石巻高2年)も「あいさつや清掃など常に意識するようになった」と変化を感じ取っていた。

【渡邊裕紀】



木村塾長から修了証書が手渡された